

いわみざわ

市議会だより



表紙は教育大学岩見沢校

現代美術・平面表現研究室 2年 木谷 萌江 さんの作品

タイトル：路頭に迷う

作者から：切り絵作品です。1枚の紙から切り出していて、全て繋がっています。一人一人の個性を鮮やかな色彩で表現しています。背景の文字や色の意味について考えてもらえると嬉しいです。

今号の主な内容

■審議結果	2
■質問項目一覧	3
■代表質問	4
■一般質問	8
■決算審査特別委員会・編集後記	12

令和2年第2回臨時会（8月11日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第87号	令和2年度岩見沢市一般会計補正予算について(第5号)	原案可決
議案第88号	令和2年度岩見沢市病院事業会計補正予算について(第2号)	〃

令和2年第3回定例会（9月28日▶10月9日） 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第89号	岩見沢市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第90号	岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第91号	いわみざわ北村温泉施設条例の一部改正について	〃
議案第92号	国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部改正について	〃
議案第93号	市道路線の認定について	〃
議案第94号	岩見沢市栗沢市民センターの指定管理者の指定について	〃
議案第95号	令和2年度岩見沢市一般会計補正予算について(第6号)	〃
議案第96号	令和2年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について(第2号)	〃
議案第97号	令和元年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	閉会中継続審査
議案第98号	令和元年度岩見沢市病院事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	〃
議案第99号	令和元年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第100号	令和元年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第101号	教育委員会の委員の任命について	同意 (遠藤かずみ)
意見書案第6号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求めることについて	原案可決
意見書案第7号	種苗法改正案の慎重な審議について	〃
意見書案第8号	軽油引取税の課税免除特例措置の継続について	〃
意見書案第9号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育について	〃
意見書案第10号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充について	〃
意見書案第11号	ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化について	〃

※可決した意見書案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

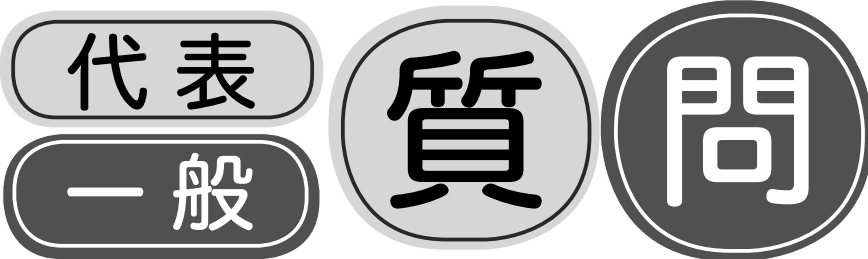
第3回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配布されました。

- 軽油引取税の課税免除特例措置の継続について
- 種苗法「改定」に関する意見書採択について
- 岩見沢市における社会資本整備等に関する意見書について
- 種苗法改正案の慎重な審議を求める要望意見書の提出について

各議員の議案に対する賛否の状況（賛否の分かれたもの）

議案名	会派名		市民クラブ										政和会			公明	共産	み							
	議員名		伊澤幸信	豊岡義博	峯泰教	平野義文	大坂龍起	太田博之	木村光宏	越戸正樹	篠原藤雄	武田貞行	増山宣之	宮下透	古石英仁	池島和行	日向清一	野尻清	石黒武美	斉須正友	猪口満雅	上田久司	山田靖廣	河合清秀	
議 91) いわみざわ北村温泉施設条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

・表決（賛成=○ 反対=×） ・会派名（共産=日本共産党議員団 公明=公明党 み=みどりの会）



第3回定例会では、市長選挙後初の議会となるため、4会派4人の議員が市長の所信表明に対する代表質問を行いました。また、市の施策の状況や方針等について、8人の議員が市長、教育長に対して一般質問を行いました。紙面の都合上、要約し掲載いたします。

代表質問、一般質問項目一覧 ※大項目のみ掲載

代表質問

市民クラブ 伊澤 幸信 議員

1. 安全安心な市民生活の確保について
2. 「健康経営都市」の推進について
3. 「第2期岩見沢市総合戦略」の着実な推進について

政和会 古石 英仁 議員

1. 新型コロナウイルス感染症への対応について
2. 市民の安全安心の確保について
3. 中心市街地の活性化について
4. 新市立総合病院の建設について
5. 広域連携による行政サービスの推進について

公明党 斉須 正友 議員

1. 「元氣八策2020」の公約の周知について
2. 新型コロナウイルス感染症の対応について
3. 安全安心な市民生活の確保について
4. 「健康経営都市」の推進について
5. 基幹産業である農業の振興について

日本共産党議員団 山田 靖廣 議員

1. 新型コロナウイルス感染症対応について

- 2. 新市立総合病院について
- 3. 人口減少下での行政運営について
- 4. 急速な社会変化への対応について
- 5. 市民との信頼について

一般質問

市民クラブ 武田 貞行 議員

1. 北村地域振興について
2. 農業基盤整備について

市民クラブ 宮下 透 議員

1. 新岩見沢市立総合病院建設について
2. 新たなスポーツ施設建設について

政和会 日向 清一 議員

1. 岩見沢市における財政調整基金の現状及び今後について
2. 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」への対応について

市民クラブ 木村 光宏 議員

1. 移住定住促進事業について
2. 防災士について

市民クラブ 越戸 正樹 議員

- 1. コロナ禍における避難所について
- 2. オンライン学習とGIGAスクール構想、学校の冬季コロナ対策について

みどりの会 河合 清秀 議員

- 1. 新型コロナウイルスと闘っている方々に岩見沢市として励ましの宣言として新型コロナ差別を許さない宣言、メッセージについて
- 2. 異常降雨時における岩見沢市街地域の冠水対策について
- 3. 旧岩見沢市立中央小学校跡地の利用について

市民クラブ 平野 義文 議員

- 1. 人口減少社会への対応について
- 2. ICT環境について

日本共産党議員団 上田 久司 議員

- 1. 緑が丘霊園について
- 2. ハラスメントの現状、対応等について
- 3. 少人数学級の実現について



市民クラブ
伊澤 幸信

「健康経営都市」の推進について

①新市立総合病院の整備に向けた取組について

——南空地の中核病院としての市長の考え方について

【市長】現在の施設が持つ課題を解消し、これからの人口減少、少子高齢社会においても南空知医療圏における地域センター病院としての機能を十分に発揮できる病院が必要であるという認識の下、平成30年度から本格的に事業をスタートし、本年4月に新病院の将来像を示す基本構想を策定した。本年度からは、基本計画の策定に入っているが、北海道からの論点提起を契機として、当市における急性期及び救急医療体制の確立に向けた検討を優先すべきとの判断から、北海道中央労災病院及び設置者である独立行政法人労働者健康安全機構との間で検討組織を立ち上げ、両病院を取り巻く環境や受療動

向の分析などの検討を進めている。

また、国から両病院を対象医療機関とする南空知区域が重点支援区域として選定され、今後必要な助言や支援を受けながら設置者が異なる病院間における再編統合に向けた議論も深まっていくものと考えている。

総合病院は、高度で専門的な医療を提供することに加え、不採算部門とされる小児・周産期医療にもしっかりと対応するとともに、二次救急医療機関として近年増加傾向にある救急患者の受入れを行うなど、本圏域における医療ネットワークシステムの中心的役割を果たしている。

現在、当市における急性期病院のあり方について再編統合も視野に入れた検討を行っているが、議論の結果がどのようなものになっても、引き続き地域センター病院として圏域住民に良質な医療を提供し、将来にわたって本圏域の地域医療を牽引していきたいと考えている。



「第2期岩見沢市総合戦略」の着実な推進について

①「積極的な調整戦略」の進め方について

——新庁舎の供用に向けて、全庁的デジタル化、IT化、リモート化を推進すべきと考えますが市長のお考えを

当市では、人口減少や少子高齢化が進む地域における積極的な調整戦略として、スマート自治体やデジタル自治体の推進が不可欠と認識し、大学や関連企業との協調の下、スマート農業や健康経営に関するデータヘルス機能など、未来技術活用に向けた取組を進めている。

昨年6月、政府のIT新戦略では、国民が安全で安心して暮らせ、豊かさを実感できる社会の実現に向けた重点施策として、我が国社会全体を通じてデジタル・ガバメントが掲げられたところであり、地方公共団体のデジタル化についても、自治体における行政手続のオンライン利用の促進、マイナポータル電子申請受付機能の活用促進、自治体の業務プロセス・情報システム標準化推進、子育て、介護、引越、死亡・相続等

のライブイベントに関する手続のワンストップ化、自治体職員と開発者が対話を重ねて設計した優良システムを複数の自治体に提案、官民データ活用推進計画の策定を通じたオープンデータの推進などを進めることとされている。

行政のデジタル化の目的は、単に現状の事務処理やサービスにデジタル技術を用いるだけではなく、個々の手続・サービスをデジタルで完結させるデジタルファーストなどのデジタル3原則を踏まえ、行政サービス自体を変革させることが何よりも重要と捉えている。

現在、新庁舎の供用開始を見据え、当市としての方向性やビジョンの整理を行うとともに、広域での共同利用を含め最適な環境構築に向けた検討を進めているが、行政のデジタル化に関する取組を契機に、新たな社会的価値を生み出すイノベーション、デジタル・トランスフォーメーションを具体化していきたいと考えている。

代表質問の録画映像をYouTubeで公開しています



代表質問：伊澤議員



政 和 会
古 石 英 仁

中心市街地の活性化について

①中心市街地の活性化、にぎわいを創出する取組について

【市長】平成11年から計画に基づく取組を開始し、駅周辺や市営住宅、生涯学習センターの整備、ポルタビルの再生やあそびの広場・健康ひろばの整備、商店街などが取り組むにぎわい創出や、民間事業者の事業展開に対する支援など、計画の実現に向け、延べ170件に及ぶハード、ソフト事業を集中的に展開してきた。

国の認定を受け、本年3月まで取り組んだ第2期中心市街地活性化基本計画では、計画に掲げた目標指標のうち、空き店舗の解消や公共公益施設利用者数については目標を上回り、中心市街地居住者人口については、転入者が転出者を上回り増加に転じるなど、活性化への効果が生じている。特に、であえーるに整備したあそびの広場は、市内外の子

育て世代から好評を得て、令和元年度までの年間平均で5万8,700名が利用され、駐車場ビル1階に整備した健康ひろばには、検診などで年間平均1万4,200名の利用があるなど、これまでに中心市街地に出向くことが少なかった階層のまちなか利用も促進されている。

また、空き店舗対策では内閣府から、創業支援や店舗改修に対する支援のほか、商店街と一緒に取り組んだ商業環境改善や後継者対策など、一体的な手厚いサポート体制が新規出店数の増加につながった事例と高く評価されている。

今後については、これまでの取組により活性化への効果が生じ始めたことから、引き続き官民協働による創業支援や既存施設の魅力向上、各種支援事業のブラッシュアップを図り、まちなか利用者増に取り組みとともに、新商工会議所会館整備への支援など民間投資の誘導や、中心市街地活性化協議会と連携の下、商店街や事業者が主体的に取り組みにぎわい創出に対する支援を継続し、活性化を推進していきたいと考えている。

新市立総合病院の建設について

①再編統合協議に当たっての基本的な市長の考え方について

複数の病院間における再編統合については、検討項目が多岐にわたるため協議に一定の期間を要するが、特に、設置者が異なる場合は、議論が長期化、場合によっては合意に至らないケースもある。

設置者の異なる市立総合病院と北海道中央労災病院は、市内で同じ急性期医療や救急医療を担っている病院であることから、将来にわたって果たしていく役割の大きな方向性は変わらないものと認識しており、人口減少下という今後の病院経営にとって非常に厳しい局面を迎えている今だからこそ、両病院が共に将来を見据え、市内はもとより圏域の住民に質の高い医療を提供できる新病院の役割や機能を十分に議論していくことが重要である。

しかしながら、再編統合の協議は、様々な角度からの分析を行い、再編統合の手法や病床機能・規模などを検討するだけでなく、再編統合後の病院の経営が将来にわたって持続可

能であるかを含めて検証するなど、議論に時間を要することも事実であるので、段階的に合意を経ていくことなども含め、協議の経過に応じて適宜必要な判断をしていきたいと考えている。

新病院建設のスケジュールについては、令和3年度までに基本計画を策定し、その後一般的な手法で基本設計、実施設計へと進めた場合、早ければ令和6年度には建設工事に着工するというスケジュール感を持っているが、再編統合ありき、スケジュールありきではなく、圏域の将来を担う新病院の建設に向けしっかりと議論するためには一定の期間を要することが想定されることから、全体スケジュールへの大きな影響が出ないよう、引き続き精力的に検討を進めていきたいと考えている。

代表質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



代表質問：古石議員



党 明 公
友 正 須 斉

「元氣八策2020」の公約の周知について

①市民への公約の伝え方について
【市長】 今回の市長選挙は結果として無投票当選ということで、三期目の就任をさせていただいた。私自身、初めての経験であり、コロナ禍の影響を含め、公約や政策を市民の皆様へ発信する機会が少なかったのも事実である。

今回の公約は元氣八策2020として、46の項目を掲げさせていただいた。まずは、これを市の予算や政策にしっかりと反映させ、市の仕事を通じて、示していきたい。

基幹産業である農業の振興について

①スマート農業の現在の取組状況や今後の展開について

スマート農業の社会実装は、基幹産業である農業の持続性確保に不可欠であり、いわみざわ地域ICT農

業利活用研究会と協調しながら、生産者が求める機能・技術の導入に関する様々な取組を進めている。

北海道大学及びNTTグループ3社との間で最先端の農業ロボット技術と情報通信技術の活用による世界トップレベルのスマート農業及びサステイナブルなスマート・アグリシテイの実現に向けた共同検討に関する産官学協定を締結し、5Gさらには6Gと言われる次世代通信規格の活用も視野に入れた新たな共同研究を開始したところである。

また、昨年度からは農林水産省スマート農業加速化実証プロジェクトの実証地域として選定の下、市内生産者に協力いただきながら、ロボット農機や自動給水栓の活用をはじめ、衛星画像データの解析結果に基づく肥料散布など収量の均一化に関する技術検証を進めている。本年度は、春の営農当初から効果測定を進めており、年単位での経済効果分析が確認できるものと期待している。

さらに本年度は、総務省及び農林水産省のプロジェクト選定の下、ローカル5G技術を用いたロボットトラクター等の遠隔監視制御機能の検証も開始した。

これらプロジェクトにおいて検

証・評価を実施する技術の社会実装が進むと、農作業の効率化や適期作業の実現による農産物の品質向上はもちろんのこと、離れた場所から複数の圃場に配置する作業機械の制御が可能となるほか、利用組合での農機の共同利用や複数の生産者によるシェアリング、あるいは夜間作業の外部委託など、スマート農業に関連する新たなビジネスモデルの創出も期待されることであり、地域経済全体の付加価値額向上に寄与する機能として、引き続き社会実装に向けた取組を進めていく。

②新規就農支援について

農家戸数や農業従事者の減少、高齢化が進む中、新規学卒者やUターン者のもとより、新規参入者を積極的に受け入れ、次世代の担い手を育成・確保することが重要である。

このため市ではJAや農業委員会など10団体で構成する岩見沢市農業後継者対策協議会を中心に、農業の理解を深めてもらう短期農業体験、新規参入者などによる独立就農や法人等で就農を目指す雇用就農での受入体制を推進しているほか、今年度からは北海道立農業大学校と連携し、非農家出身の学生を対象とした研修受入れ支援を開始した。

第三者農業経営継承の制度について、北海道農業担い手育成センターが平成30年度より農業経営の第三者継承情報・提供活動として、移譲希望者と継承希望者の登録・マッチングの取組を行っており、当協議会もその地域組織として関わり、制度の周知や相談窓口を担当している。

第三者農業経営継承は、移譲希望者の経営基盤を全て引き継ぐことができるため、農地等の資産を取得してスタートする独立就農に比べると早期に安定経営が可能となるメリットがあるが、継承する農場の資産評価と資産をどう引き継ぐか、継承希望者との人間関係の構築、住宅環境等の課題もある。

今後は、当協議会により、第三者農業経営継承の事例の収集を行うなど調査研究を進めるとともにJAなどの関係機関が進める新規就農確保対策についても連携を図り、多様な担い手の育成・確保に取り組む。

代表質問の録画映像をYouTubeで公開しています



代表質問：斉須議員



日本共産党議員団
山田 靖 廣

新型コロナウイルス 感染症対応について

①庁舎内等の対応について

——来庁者の対応について

【市長】 職員のマスク着用の徹底をはじめ日常消毒を行い、消毒液を配置し、来庁者にもマスクの着用と手指消毒の協力をお願いしている。

また、感染機会の低減を図るため、窓口カウンターに飛沫防止パネルを設置したほか、ソーシャルディスタンスを図るとともに、北海道コロナ通知システムの登録施設として、QRコードを掲示し、来庁者のシステム利用に対応している。今後、来庁者及び職員への注意喚起を図り、感染防止の取組を徹底していく。

——各事務室での感染予防対策について

職員の手洗いやマスク着用、せきエチケットの徹底を図るとともに、執務室内の定期的な換気、飛沫防止パネルやデスクの消毒など実施して

おり、今後もできる限りの感染予防対策に取り組むが、職員間のパージョンは、設置することは難しいと考えている。

また、職員の体調確認等は、出勤前の体温確認はもとより、管理職が職員の健康状態の把握に努め、感染が疑われる場合は、特別休暇として出勤を控えさせるとともに、職場内クラスターの発生を未然に防止するため、接触確認アプリCOCAの利用促進を図るなど、感染症対策に取り組んでいる。

——新庁舎の対応について

現庁舎で取り組んでいる対策を講じるほか、トイレ設備はウイルス拡散の可能性が高いハンドドライヤーをペーパータオルに見直し、手洗いの自動水栓化等を予定。また、感染症に効果的な設備等の情報収集を行うとともに、情報通信技術を活用した業務の見直しによる接触機会の低減を図るなど、検討を進める。

②避難所の対応について

——避難所運営などの再検討について

対応マニュアルを作成し、受付時の避難者の体温検査、健康状態の聞き取り、発熱者は一般避難スペースとは別の空き教室での対応など、感

染拡大防止に努め運営する。

——自宅での避難の対応について

災害時の避難先は、個人がその状況を判断して選択することが基本となる。避難所への避難、在宅避難、分散避難について、その状況や個人それぞれに合った避難方法を選択していただくよう、市のホームページや広報誌、出前講座を通して周知を図っている。

——避難所情報のネット等の配信について

災害被害想定における避難者については、コロナ禍においても、避難所での収容が可能と考えているが、改めて、導入効果などについて、研究していく。

市民との信頼について

①市民との懇談会等について

——規模や内容の拡充について

市政地区懇談会は、地区町会連絡協議会単位で実施してきた。あわせて、毎年、懇談会の場においても、市政についてお話しさせていただくとともに、多くのご意見ご要望を頂き、市政に反映させてきた。

コロナ禍の中、従来の形での開催は難しいと考えているが、各団体との懇談会は、現在も実施方法や対象

者を限定しているということではない。引き続き、実施方法をはじめ開催についての要望を聞きながら、幅広く市民の皆様と直接対話をする機会の実現に努める。

——若者世代との懇談会開催などについて

現在、市民の皆様からのご意見・ご要望は電話、来庁及びホームページの入力フォームから受付しており、幅広い世代からの意見、要望を市政に反映している。

また、これまでも若者世代を対象としたワークショップなどの意見交換会の開催により積極的に市政に反映させてきた。

今後、未来を担う若者世代の意見や要望を聞く機会を増やして市政に反映していきたいと考えている。

代表質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



代表質問：山田議員



市民クラブ
武田 貞行

北村地域振興について

①北村地域の人口が著しく減少していることに対する考えについて
——新栄団地や勤労者住宅の周知に

対する十分なPRが不足しているのではないかとこの観点から、北村地区の集客と定住に向けた地域振興の考えを伺いたい

【市長】新栄第2団地及び第3団地は、毎年のように分譲実績が続いている。市の広報やホームページのほか、新聞等の広告媒体や不動産業者等を通じたPRにも引き続き努める。

また、北村勤労者住宅についても、昨年度に実施した入居者の資格要件緩和の効果により、入居率が改善されている。

観光振興の観点からは、北村温泉施設のリニューアルにより、観光誘客の推進や、地元農産物PRへの寄与等、様々な波及効果を期待している。

また、農業を軸とした取組としては、土地利用型農業や農地の集積・集約化に加え、スマート農業への投資により、稼ぐ力を高める取組を進めており、今後においても、地域資源を生かした施策をバランスよく展開していく。

②赤川開拓3号線の改修について
——西川町中央線より続く赤川開拓3号線の改修予定と、狭小で危険と思われる橋についての扱いの考えを伺いたい

赤川開拓3号線は平成23年度から西川町側より工事に着手し、北村境の橋梁の手前まで進めてきた。さらに、平成28年度から橋梁を含む北村側の設計に着手し、全地権者から了承を得られたことから、年内には支障物件を撤去し、令和3年度から令和6年度までの予定で工事を行う。また、橋梁部分の扱いの考え方について、現況とほぼ同じ位置で、幅員を7メートルから8.5メートルに広げ、さらに、前後のカーブも緩くなるように橋梁の方向を調節し架け替える設計としている。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています



一般質問：武田議員



市民クラブ
宮下 透

新たなスポーツ施設建設について

①スポーツセンター建て替えの市長の考えを伺う

【市長】屋内体育施設の配置は、平成31年3月に策定した岩見沢市公共施設再編基本計画において、地域バランスを考慮した設置を基本に、7カ所ある施設の老朽化や利用実態と今後の利用動向を踏まえて、屋内体育施設全体で複合・集約化を検討することとしている。

公共施設の再編・整備については、公共施設全体の配置計画や優先順位、さらには将来的な公債費負担、維持管理費等を考慮しながら、有利な財源の活用及び市民や利用者の利便性など多角的な視点で検討する必要がある。

スポーツセンターについては、スポーツ振興という観点のみならず、市民の健康づくり、さらには共生のまちづくりといった観点も重要なテーマとなることから、公共施設再編基本計画第1期計画期間後期の令和7年度までに構想策定に着手していきたいと考えている。



一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています



一般質問：宮下議員



政 和 会
日向清一

岩見沢市における 財政調整基金の現状 及び今後について

① 岩見沢市における財政調整基金の現状及び今後について

—— 財政調整基金の現時点での残高について

【市長】 令和元年度末の残高は約55億6千万円となっている。

令和2年度末残高は約41億9千万円となる見込みである。

財政調整基金については、経済事情の変動や災害など不測の事態に備えるため、一定程度の残高を確保しておくことも重要ではあるが、現下の情勢を市民の皆様とともに乗り越えていくためには、何よりも感染拡大の防止と経済の活性化に向けて、ちゅうちょなく取り組む必要があることから、地方創生臨時交付金を最大限活用するとともに、必要に応じて財政調整基金も活用していきたいと考えている。

—— 今後の財源確保について

新型コロナウイルスの感染拡大は企業の業績悪化による市税収入の減が見込まれる中、総務省が示す地方財政収支の仮試算においても、地方交付税は2・4%の減とされ、その穴埋めとして臨時財政対策債の増発が予想されるなど、地方財政に与える影響は大きいものがあり、今後の財政運営を取り巻く環境は厳しさを増すものと強く懸念している。

一方、歳出面は、引き続き感染拡大の防止や地域経済活動の回復に向けて取り組むため、新年度予算編成作業において、財源の捻出に努めるとともに将来を見据え、行政サービスのデジタル化を図り、市民サービスの利便性の向上と行政の効率化を両立させるスマート自治体の取組を加速させていかなければならないものと考えている。

また、地方交付税や臨時交付金などの財源確保についても、全国市長会等を通じて国に要望する。

一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：日向議員



市民クラブ
木村光宏

移住定住促進事業について

① 移住定住促進事業の今後の取組について

—— 幌向・上幌向の移住定住促進について伺う

【市長】 岩見沢市は、ライフスタイルが多様化する中で、様々な住民ニーズに対応できる、総合的な住みやすさを高める施策を行ってきた。

このことは、移住定住の取組においても根幹をなすものであり、人口が減少していく中で、今後も当市が選ばれるまちであり続けるための条件となることから、今年度からスタートした第2期総合戦略に基づき、将来を見据えた様々な施策をバリエーションよく展開することにより、住みやすさのさらなる向上を図っていきたく考えている。

中心市街地だけでなく、幌向や上幌向を含めたJR各駅の周辺や北村中心部などについても日常生活拠点と位置づけており、公共サービスな

ど、一定の都市機能の集積を図る必要があると考えている。

また、当市のシティプロモーションの取組は、札幌圏の子育て世帯、20代後半から30代前半の女性をターゲットとしており、札幌市へのアクセスに優れた幌向・上幌向地区についても、当市の住みやすさを構成する重要な要素の一つと認識しているが、市全体としての活力を維持し、移住の増加や定着を図るためには、そのことだけにとらわれるのではなく、住みやすさや自分らしい暮らしに対する様々なニーズを捉えることが重要であり、市内各地域それぞれの特性や魅力に磨きをかけるなど、総合的な取組を進めていきたいと考えている。



一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：木村議員



市民クラブ
越戸正樹

オンライン学習とGIGA スクール構想について

①GIGAスクール構想に伴う、
家庭の環境整備について
——学校Wi・fi整備・ルーター
貸与・有償通信契約キャリア決定に
ついて

【教育長】モバイルルーターの貸与
等に係る通信キャリアの決定につい
ては、市ホームページで広く公募し、
プロポーザル形式により審査した結
果、NTTドコモを選定した。

——オンライン授業専用の有償通信
契約の費用について

2週間程度の臨時休業時に10GB
まで通信可能なモバイルルーターを
月額1,500円程度でご紹介する予定。こ
のプランは1カ月単位での利用が可
能となっており、臨時休業期間中の
みの活用が可能であるため、イン
ターネットの閲覧環境のない家庭に
おいても活用しやすい制度になって
いると考えている。

——各家庭のWi・fi環境・オン
ライン学習環境の平準化について

臨時休業時の家庭学習環境の整備
に向けて、教育委員会として方針を
決定し、9月に発行した教育広報に
より保護者の皆様に周知した。

10月中には臨時休業中の各学校に
おけるオンライン授業の実施方針を
学校だより等で示した上で、教育委
員会が各家庭に対して意向調査を
実施し、インターネット環境及びモバ
イルルーターの貸与希望を把握する
予定。

また、オンライン学習時の宿題に
ついて、臨時休業時のオンライン学
習は、プリント学習と動画配信、双
方向のオンライン授業を組み合わせ
て実施していくことで考えている。
仮に宿題が出される場合は、プリン
トの活用を基本とし、インターネッ
ト環境の有無により差が出ないよう
にしていきたいと考えている。

一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：越戸議員



みどりの会
河合清秀

旧岩見沢市立中央小学校 跡地の利用について

①旧岩見沢市立中央小学校跡地の
利用について

——旧岩見沢市立中央小学校跡地利
用の計画はどうなっているのか

【市長】約1万7千平方メートルの
敷地を有する旧中央小学校跡地は、
まちなか活性化計画における中心市
街地のエリアに位置し、比較的制限
の緩やかな第二種住居地域に区分さ
れていることから、様々な利活用が
想定される土地である。

建物は昨年度中に解体を終え、本
年度は、用地確定測量を実施し、敷
地の形状や面積等の詳細な情報の計
測や隣接地との境界の明確化など、
今後を見据えた準備を行っている。

市では、既に新校舎を建設中の頃
より、利活用の方針についての検討
を始めており、協議を重ねてきた。

さらに、その具体的な方針の取り
まとめに向けては、本年度より新た

に設けた内部検討会議において、関
係部局の実務担当者による分析、検
討が進められている。

——旧岩見沢市立中央小学校跡地利
用については公共性の高い目的で使
用すべきと考えるかがか

跡地の活用は、都市計画マスター
プランとの整合や、公共施設等総合
管理計画における基本方針等に留意
するとともに、地域活性化や市民
ニーズを踏まえたものとするこ
とや、周辺に居住する住民生活への配
慮、財政健全化の視点などを盛り込
む必要があると考えている。

その上で、検討上の選択肢として
は、行政需要に基づく公共的利用以
外にも、公益的サービスや民間事業
者への売却などが想定されるところ
であり、市民生活の質の向上やま
ちなかの活性化への寄与を前提とし
て、本市の将来を見据えた経営資源
の最適化が図られるよう、引き続き
十分な検討を行っていききたい。

一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：河合議員



市民クラブ
平野 義文

人口減少社会への 対応について

①公共施設の状況と今後について
——現在の公共施設数、延床面積、
人口一人当たり面積について

【市長】平成30年度末現在の施設数は396施設と、公共施設等総合管理計画の基準年である平成25年度末と比較して19施設の減少となっている。

延床面積は、いわみざわ環境クリンプラザの建設などもあり、計画策定時とほぼ横ばいの62万平方メートル、行政財産の市民一人当たりの延床面積は、人口減少に伴い、5・91平方メートルと若干増加している。

現在は、各施設の所管課で、具体的な再編プロセスを示す個別施設計画の策定を進めているところであり、公共施設再編基本計画でお示した令和7年度までの方向性に基づき、その着実な実行に努めていく。

——移転や廃止、協議などの施設における当事者等への対応について
平成27年度に策定した施設カルテについては、全ての公共施設の現況を可視化した情報について、広く一般に公開するなど、市民の皆様との情報共有に努めてきた。

現在策定を進めている個別施設計画も、市民の皆様との合意形成が重要となることから、個々の施設の利用状況や、廃止時の受皿となり得る代替施設等も考慮しながら、市民の皆様との対話や利用者団体との調整など、丁寧な説明を行い、慎重に検討を進めていく。

特に、地域における集会施設等については、再編基本計画において廃止や譲渡等の方針を拙速に定めることなく、協議という項目を設け、十分な合意形成を図ることとした経緯があり、地元の町会等と時間をかけて協議するなど、より丁寧な対応を進めていきたいと考えている。

一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：平野議員



日本共産党議員団
上田 久司

緑が丘霊園について

①園路・通路の改善について

【市長】緑が丘霊園の園路は、基本的に時計回り方向の一方通行であり、幅員は幹線6メートル・支線4メートルであることから、一方通行を守っていただければ、どの交差点でも十分安全に曲がることのできる状態になっている。進行方向等の表示が現在不十分な部分もあることから、来年度に向けて、分かりやすい案内表示を設置し、利用される皆様方が、よりスムーズに通行できる園内整備を行っていく。

②納骨塚の改善について

納骨塚は、平成29年10月に供用開始する際、道内他市の状況を調査した上で、献花台や、名前を刻むプレート、いわゆる墓誌の設置などについて検討した結果、献花台のみ設置し、花や供物などは、お参りの都度持ち帰りいただくこと、墓誌は設置しないこととし、利用の申込みに来られ

た方には、その旨を説明し、了解の上、使用の申請をいただいている。献花台のみの設置ではあるが、参拝者に対しては、花や供物のほか、花瓶やろうそく、線香などの仏具、神具等、それぞれの宗教のお参りに必要なものは、ご自身でそれぞれ用意いただくことに制限を加えているわけではなく、お参りの都度持ち帰りいただくよう案内しており、新たな花立て等の設置は考えていない。

墓誌についても、既に収蔵数3千体のうち8百体以上の埋蔵が墓誌なしに行われており、新たにプレートを貼る場所を設置する場合、その費用の利用者負担を検討する必要もあることから、考えていない。



一般質問の録画映像
をYouTubeで公開
しています



一般質問：上田議員

決算審査特別委員会

第3回定例会で閉会中継続審査※¹と決定された、決算関連4議案（議案第97号～第100号）の審査を行うため、全議員※²で構成される決算審査特別委員会が設置され、10月20日～23日の4日間審査が行われました。

起立採決の結果、起立多数により、議案第97号を認定すべきものと、そのほか3議案を可決及び認定すべきものとそれぞれ決定しました。

今後、次回の本会議において、決算審査特別委員会委員長が審査結果を報告し、最終的な採決が行われます。

（※¹閉会中継続審査：議会会期中に審議終了できず、付託を受けた委員会が議会閉会中に引き続き審査を行うこと。）

（※²全議員：議長と議員の中から選出されている監査委員の計2人を除く20人の議員）

市民との意見交換会について

本来であれば、本年2月21日に「市民との意見交換会」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期し、11月13日に感染対策を講じたうえで開催する予定でした。

しかし、感染者の急増により、11月7日に北海道のコロナ警戒ステージが3となり、開催方法について協議を重ねた結果、11月13日にオンライン配信のみとし、市民の参加なしでの開催に変更いたしました。

開催の延期、変更に対して、パネリストの皆様、アンケートにご回答いただいた多くの市民の皆様にご理解、ご協力をいただき、心からお礼を申し上げますとともに、来場を予定していた市民の皆様にご心からお詫び申し上げます。

なお、当日の内容は録画配信しており、下記URLもしくはQRコードより視聴できますので、ぜひご覧ください。

本会議のインターネット中継について

本会議の様様をインターネット動画サイトYouTubeにて生中継・録画中継しております。下記URLもしくはQRコードよりご覧ください。

URL https://www.youtube.com/channel/UCjjSzdyAOXBFq_yRLRIS7gg



編集後記

広報広聴委員会委員 日向清一

コロナウィルス感染症の恐怖から1日も早く解放され元の生活が戻ることを祈る毎日ですが、北海道のコロナ対策の警戒ステージが10月28日は2に、11月7日には3に引き上げられるなど、感染が拡大傾向にあり危機感を持っての生活が続いています。

岩見沢市では8月11日に第2回臨時会が開催され、プレミアム商品券をはじめとする経済対策を行う補正予算が可決されました。

また、岩見沢市長選挙終了後、第3回定例会、そして昨年度の実績を議論する決算審査特別委員会を無事終えました。

感染防止に最大限に配慮しつつ、市民の皆様の声を市政に反映させるべく22名の議員全員で今後も取り組んでまいります。

【委員長】太田博之 【副委員長】池島和行

【委員】越戸正樹 平野義文 宮下透 日向清一 猪口満雅

山田靖廣 河合清秀

ホームページ

議員名簿、議会の概要、本会議、委員会などの会議のお知らせ、過去の会議の結果（会議録）などを掲載しています。



議会の傍聴について

本会議と委員会は、どなたでも傍聴することができます。（団体で傍聴される方は、席確保の都合上、事前に議会事務局までご連絡をお願いします）

議会事務局

Tel 23 - 4111

（内線 462・463）

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。

岩見沢市議会